

[概要]

本稿では、既存の研究をもとにふるさとの表象について、さまざまな考え方があり時代と共に変化するという仮説を立て、石川県輪島市をロケ地として撮影された映画をもとに輪島をふるさととして表象している映画と社会背景によって検証・考察した。輪島フィルムコミッションのロケ実績より映画9作品の作品上での輪島の役柄という観点に着目して整理し、7作品が登場人物の「ふるさと」として描かれていることが明らかとなった。そして表象の変化を時代にわけ、社会背景の流れの中に置くことでふるさとの表象の意味が変化していることを明らかにした。

キーワード：表象，ふるさと，ロケ地，映画